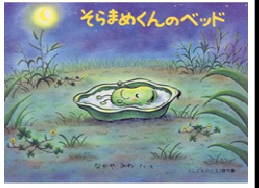



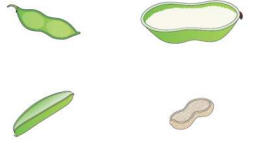
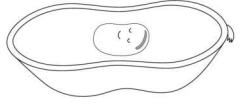
3歳児クラス 7月 第2回 「そらまめくんのベッド」

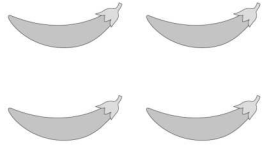
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 「ふわふわ」「ごつごつ」「べったんこ」などのコトバをリズムカルに表現しながら読む。 読み終わった後「そらまめくんのベット気持ちよさそうだったね…どんなベットだった？」と形状を思い出させ実際に絵本で確認する。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：<活動2>で使用する綿やお人形のお布団などを使い、実際に触らせ「どんな感じ？」と問いかけ子どもからのことばを引出してみる。ことばがでないときは「ふわふわ？ごつごつ？ちくちくはどう？」「先生だったらね…」などとイメージを広げることばを掛け「今日はこんなふわふわのベットで寝てるそらまめさんのおはなしです」と言って映像をスタートさせる。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと一緒に becoming 外-リ-や会話を楽しむ。 	

がくしゅうタイム

活動①		記憶	お話を思い出し正しいものに○ができる。	
設問	そらまめくんのベットはどれですか、だいたい(オレンジ)色のクレヨンで○をつけましょう。			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ふわふわのそらまめくんのベットの中でみんな仲良く眠れて良かったね」 保：「今日も博士からクイズが届いてますよ」とプリントが入った封筒持って登場。 			P1
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：封筒受け取り「今日はどんな問題かな？チャレンジする人！」と意欲を引出しプリント配布。 講：プリントの絵を見て「あれ？どこかで見たね。お話の中に出てきたね。では問題です。一度しか言わないからよく聞いてね。」と集中をうながして出題。 ※クレヨンの色の指示今回は「だいたい(オレンジ)」としました。まだ難しい子も多いと思いますがどちらで言われても理解できるようになって欲しい色なので確認しながら持たせてみてください。 ※周りをのの子の答えを見たり答えに不安のある子には「〇〇ちゃんはどう思う？」「間違えても大丈夫」「自信をもって〇してごらん」「間違えたら教えてあげる」などのことばをかけ、自分で考えることの大切さを伝えていく。 正解を絵本で確認。「ピンポン」「大正解！」などとはなまる又はスタンプで賞賛。また自信を持って○ができたことへも賞賛の言葉をかけ自信を持たせていく。 (プリントをめくりP2へ) 			★クレヨン
				保育士の役割
活動②		感覚	綿を使ってそらまめのベットを作る	
設問	ふわふわのそらまめのベットを作りましょう。			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「そらまめさんねてるよー」と言いながらプリントをめくる。 			P2
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：プリントを触りながら「そらまめさんのベットはふわふわなんだよね。でもこれは？」「そう、つるつるだね。さみしいね」 保：「ふわふわ気持ちいい～」と綿をほほにあてて登場。 講：「先生にも貸して。ホントに気持ちいいねー。あ！そうだ！良いこと考えた。これでそらまめさんのベットをふわふわにしてあげよう」 見本行動。プリントの両面テープを剥がし、綿をちぎりながら貼っていく。 保：子どもたちに綿配布。 子：まずは感覚行動。綿の感触を実際に楽しんでからプリントに貼っていく。(テープのゴミは皿の中) 講：「そらまめさん気持ちいいっていつてるね。良かったね」と賞賛。 (プリントをめくりP3へ) 			P2用綿 皿(テープゴミ用)
				保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> 綿の感触を味わいながら登場 綿を配布 ゴミ用皿配備 プリントめくり補助 	

活動③		数	「4つずつ」を理解しシールを貼ることができる	
設問		えんどうまめを「4つずつ」貼りましょう。 (それぞれのさやの中に4枚ずつシールを貼る)		
つなぎ		<ul style="list-style-type: none"> 講：(プリントめくりながら)「次はえんどう豆。いくつあるかな?」と問いかけ数えさせる 		教材
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> 講：「いくつあった?」全員で指さし数えて「4つ」を確認する。「でもこの豆には誰も寝てないね」 保：「真ん丸お豆さん持ってるんだー」とシール提示。 講：「いいなー美味しそう。食べちゃおうかなー」「ん?何々?」と言いながらとまめシールに耳を近づけ「まだぼくおいしくないって、もう少しベットで眠ったらおいしくなるんだって」今日は一つのさやに「4つずつ」入れることを確認し豆を入れる見本行動。「いち・に・さん・よん。全部で4つ」数えながら貼っていく。 講：「まだこんなにお豆さんあるよ。みんなも入れてみる?」とシール配布 子：見本と同様に「4つずつ」シールを貼る。(シールのゴミは皿の中) 貼り方・貼る順番は間違え行動含めできる限り見守る。数の間違いは「もう一度確認してごらん」「一緒に数えてみよう」などと最後に見直しをさせて自分で気づけようにフォローする。 「4つずつ」貼れたことを確認。はなまるやスタンプで賞賛。終了。プリントを回収する 		P3 P3用えんどう豆シール (一人16枚)
				保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> シール提示 配布用シール提示、配布 ゴミ用皿配備 数の理解個別指導 賞賛 プリント回収

数チャレ				教材
設問				
活動内容		※今回は<活動3>を「数にチャレンジ」とします		保育士の役割